

多治見の高校生が

わーい!!

# きあ 今井希海さん、アーチェリー日本代表に選出

今井希海さん（近畿大学附属高等学校3年・多治見市出身）が、昨年11月におこなわれた2025年ナショナルチーム選考会において4位に入り、2年連続でシニア日本代表に選出されました。昨年はインターハイ、国民スポーツ大会ともに個人優勝するという快挙も成し遂げた今井さん。今回、日本代表を手にするまでのお話を伺いました。

## アーチェリーを始めたきっかけは何ですか？

中1の秋にお父さんが新規にスポーツをやらせようと思ったらしく、まずはアーチェリーをやってみようという話になりました。そこで多治見市アーチェリー協会にお願いし、旭ヶ丘弓道場で数回体験しましたが、多治見ではジュニアの育成はしていなかったのでクラブチームを紹介してもらい、セキ・アーチェリージュニアクラブに入りました。



## アーチェリーを続けたのはどうして？

クラブに入る前は、真剣に部活をしたいとは思っていませんでした。しかし「勝ちたい」という気持ちが強く、それが原動力となって続けました。

初めて勝ったという実感を持った試合は、中2の「GA（ゴールデンエイジ）育成選手選考会」です。アーチェリーを始めて1年程度でしたので、経験が少ないからダメかなと思っていたら6位に入り、とても嬉しかったです。

## 高校は屈指の名門・近畿大学附属高等学校に入学しましたが、どんな環境ですか？

高校の練習はとても厳しいです。しかしそのおかげで、高校1年生でU18の日本代表選手として世界大会（2023世界ユース選手権）に行くことができました。

自分の周りの人たちは、もちろん上手な選手ばかりです。しかしそれは所詮日本代表レベルの話で、韓国や中国は圧倒的にレベルが高く、世界にはまだまだ上がいるのだと痛感しました。そして世界大会での経験がきっかけで、トレーニングを見直すことにしました。

## この度、シニアの日本代表選手に選ばれました。2日間の選考会、初日は16位でしたが、2日目で追いついて見事4位通過となりました。どのようにして2日間を戦いましたか？

実は選考会の前からずっと不調で、とても不安でしたし、慎重にうたないと入れないと思いました。そこで1日目は慎重にうった結果、16位でした。これではまずいからちょっと変えてみようと思いました。自分は「流れに乗ってうつ」方が点数に結びつくタイプなので、2日目は一か八かでスタイルを変えました。それが4位という結果にうまくつながりました。



## 国際大会の出場に向けて一言お願いします。

前に出場した世界大会ではメダルを持って帰ってこれなかったのが、今回はメダルを持って帰ってきたいです。

## 令和7年度 第66回 市民スポーツ大会 春季大会 開幕

多治見市内に在住・在勤・在学の方ならどなたでも参加できます。

### 総合開会式

【日時】

5月11日(日) 8:30~

【場所】

感謝と挑戦のTYK 体育館  
第1競技場



- 開催予定種目●陸上など全22種目  
(種目は変更になる場合があります)
- 場 所●多治見市内スポーツ施設にて 各競技順次開催
- 要 項●4月1日(火)から多治見市スポーツ協会ホームページ(tajimi-sports.com)に掲載します。  
申し込み方法、申込先などは要項をご覧ください。

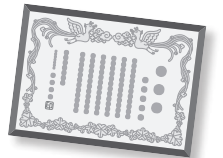
## 祝 岐阜県地域スポーツ功労賞受賞

～佐藤千次さん(ソフトボール)～

令和6年度岐阜県地域スポーツ功労賞被表彰者の発表があり、多治見市からは市ソフトボール協会所属の佐藤千次さんの受賞が決定しました。

佐藤さんは、長年にわたりソフトボールの公認審判員として活躍する傍ら、指導者として小・中・高校生を対象としたスポーツ教室を開催するなど、ソフトボールの普及に熱意を持って活動された実績が評価されました。

このたびの受賞、おめでとうございます。



## 令和6年度 賛助会員のご紹介 (追加分)

日頃より多治見市スポーツ協会への深い理解を賜り、誠にありがとうございます。令和6年度にご協力をいただきました会員をご紹介します。

リード進学塾 様